

あなたとともに考える「くにたち」のこれから

市民と市長の対話の会 実施報告書（第3回）

1. テーマ

南部地域のまちづくり ほか

2. 日時

令和7年8月22日（金） 午後6時～

3. 場所

矢川プラス 多目的ルーム（大）

4. 参加者数

7名

5. 内容

市長より挨拶を行った後、参加者の自己紹介を行った。市長より「南部地域のまちづくり」の報告をした後、市民と市長の対話を行った。

6. 対話の内容（主な意見等）

（1）南武線連続立体交差事業と都市計画道路について

- 南武線の高架化と都市計画道路は、別問題として考えてほしい。都市計画道路3・3・15号線と3・4・5号線は、団地を分断してしまう。そのような都市計画道路には反対している。
- 狭あい道路は、都市計画道路のような大きな道路ではなく、地域内で解消できる

ものだ。道路整備は、時代遅れだ。

- 都市計画道路 3・3・15 号線は、いらないと思う。絶滅危惧種を含む矢川の生態系を守っていくべきだ。財政も含めて、将来のことを考えてほしい。
- 都市計画道路 3・3・15 号線は必要だ。立川の防災拠点につながり、大きな災害が発生した場合の重要な道路である。
- 高架化と都市計画道路はセットだというのが、市の対案をもって都知事と話してみてもどうか。
- 近い将来に大きな人口減少社会が到来することがほぼ確実視されており、20 年後には日本の総人口が 1 億人を割るとも言われている。首都直下地震や富士山大噴火の危険性も高まっている。こうした中で、莫大な予算を使って駅前開発を進める必要性に疑問を感じる。大災害対策に予算を使うべきではないか。
- 物価上昇が予測できる中、矢川駅周辺開発について、国立市の予算規模では相当な無理があるのではないか。専用の基金があるとの説明であったが、現時点での残高が約 10 億円しかなく極めて不安。

(2) 市政全般に係る意見等

- 健康チェックを行っているが、実施場所で苦勞している。特に、谷保地域は、坂下集会所が和室で高齢者が使いにくく、洋室に変えるなどしてほしい。
- 公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団の定期預金のうち、J A 東京みどり国立支店に約 3 億 1,200 円の残高があるが、その年間利息が約 8 万円しかない。

多摩信用金庫への預入残高 3,000 万円に対する利息は約 2 万 2,000 円である。資金運用としておかしいのではないか。

- くにっこは昼しか走っておらず、北地域から体育館に行きにくい。
- 南市民プラザのトレーニング室にあるような器具を北市民プラザにも何台か欲しい。
- 北市民プラザのロビーを学生に開放しているが、トイレの前にも机が並べてある。週に二、三日でもよいので、会議室も開放すれば、もっとゆったりとできるのではないか。
- 富士見台の交番より東側に市の施設がない。閉園になる予定の幼稚園があるので、そこを市で借り上げて、親子が過ごせる場所にしてほしい。



▲対話の様子